

# シルバー 世たがや

Vol.172

2023. 新年号



雪の希望丘公園

撮影：北村ふ志江 さん

- ・油断せず 三密さける 外出を
- ・確認と 心のゆとりで 事故防止
- ・コロナ禍も マスク・手洗い 身を守る

令和4年度「安全標語」入選作品



## ★★ 目 次 ★★

P 2… 年頭にあたって 山田 正孝 会長  
保坂 展人 名誉会長

P 3… 令和4年度第2回組長連絡会議 開催

P 4… 3年次研修会 開催

P 5… 総務部会、地域組織・会員部会からの  
お知らせ

P 6… 安全委員会からのお知らせ  
自転車シミュレーター講習会 開催  
安全パトロール 実施

P 7… 令和4年分の確定申告について  
配分金等に対する所得税の取扱い

P 8… スマートフォン活用講習会 開催  
事故一覧 最近の事故【賠償事故】  
事務局だより

# 2023 謹賀新年

## 年頭にあたって

公益社団法人  
世田谷区シルバー人材センター  
会 長 山田 正孝



皆様明けましておめでとうございます。  
新しい年を迎えお慶び申し上げます。

会員の皆様には、日頃よりセンターの運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、秋を迎える頃まではコロナ禍を考慮しなければならない状況でした。その後は、海外からの観光客を制限なく受け入れ、国や都も特段の制限をかけることはありませんでした。当センターも従来 of 行事を原則的に進め、新年を迎えることができました。

この状況の下、本年度目標の会員数3050名の達成を旗印に、活動してまいります。男性会員数が伸び悩む一方女性会員が徐々に増えているので、会員平均年齢を下げられる期待も込め、主たる入会勧誘ターゲットとしては60歳代の女性を重点に据え、目標値の達成に向けて活動してまいります。

会員数の増加は、センターの活性化につながります。会員の皆様にも是非ともお力添えをお願いいたします。併せて、ご意見などがありましたら、お聞かせくださいますようお願いいたします。

本年は、コロナ禍の影響に負けずに理事会および事務局一丸となって、センターの円滑な運営を行ってまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

公益社団法人  
世田谷区シルバー人材センター  
名誉会長  
世田谷区長 保坂 展人



明けまして、おめでとうございます。

世田谷区シルバー人材センター会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は社会経済活動が戻りつつある中、オミクロン株による感染再拡大もありコロナ禍が続く1年となりましたが、会員の皆様には感染拡大防止とセンター活動の両立にご尽力されていることに感謝いたします。

新年を迎え、シルバー人材センターが、「いきがい就業」の理念に基づき、新しい生活様式に合わせた高齢者の就業と社会奉仕活動に一層取り組まれるよう期待しております。

結びに、シルバー人材センターのさらなるご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

## 今年もよろしくお願ひします

理事会・事務局一同

監						理	副 会 長	会 長
事						事	常務理事	山 田 正 孝
事務局職員一同	小池 二三男	市野 邦男	佐藤 弘子	笠木 明美	植野 真由美	中 勝 又 真 紀 子	伊 藤 幸 洋	小 山 田 義 彦

# 令和4年度第2回組長連絡会議が開催されました

## 令和4年度第2回組長連絡会議の報告

令和4年度第2回組長連絡会議は、コロナ禍で十分な対策をして9月22日(木)13:30~15:00、宮坂区民センターで開催されました。

参加者へは、事業実施報告書、3年次研修アンケート集計結果報告書、「シルバーせたがや171号」が配布されました。

会員憲章代読に続き山田会長の挨拶があり、「コロナ禍で会員の中にも感染が広まりつつありますので、ことのほか就業時にはうがい・手洗いの励行をお願いしております。会員数は微増ではありますが上向き、各種イベント・ボランティア活動の始動準備を進めています。引き続きご協力をお願いしたい。」旨の発言がありました。

引き続き小湊芳晴事務局長より資料を元に、「会員数は前年比2.8%減、男女比2:1、最高齢男性会員93歳、女性会員92歳がおられます。実績累計では就業人員は減少しているが、契約金額は6.9%増となっている旨、また就業内容の内訳では、屋内清掃は減少傾向ですが、建物管理・美術館・除草・自転車等駐車場は増加となっている。」旨の説明がありました。

さらに、「今回の協議事項(会報誌配布に代わる班長の業務)については、各組の現状や要望についての意見聞き取りがなされ、要約すると「これからはどの様にして所属会員とのコミュニケーションを進めたら良いか」、「各種活動への呼びかけの難しさ」との声が多数ありましたが、会の終了後に参加組長によるフリートークの時間が予定されているので、是非活発な意見交換の場になっていただければ有り難いです。」と説明がありました。

事務局からは、「入会促進のポスター掲示は3年を経過し、劣化が見られる現物は順次交換いたしますので、指摘のご報告をください。」と案内がありました。

さらに、年次研修結果報告として、参加会員より「懇談会・ボランティアの情報をもっと知りたい」と言う声が多数ありましたとの事でした。

併せて、「シルバーせたがや171号」は、表紙のイメージを刷新した事および令和5年10月スタートするインボイス制度について、分かり易い説明を今後も続けて行く予定との説明がありました。次回組長会の開催予定は、本年12月23日である旨が通知されました。

その後、閉会の挨拶があり終了となりました。



# 3年次研修会 開く

コロナ禍でしばらく開催することが出来なかった3年次研修会が、未実施だった入会5年目の会員（参加者59名）を対象に7月5日および同じく入会4年目の会員（参加者73名）は9月16日、そして入会3年目の会員（参加者80名）は10月14日に、開催されました。



最初に、山田正孝会長から次の5項目についてお話がありました。

1. シルバー人材センターを取り巻く環境については、70歳までの定年・再雇用の延長努力義務化。多岐に渡る高齢者就業紹介団体（NPO・仕事センターなど）の増加。人生100年時代を迎え、高齢者の経済的健康確保の必要性。2025年問題により、60歳～70歳までの会員の減少と平均年齢の高齢化に伴う退会者の増加（病気・死亡・家庭環境の変化等）で会員数が減少していること。
2. 組織構成については、令和3年組織改編として、理事会と運営委員会の機能重複の解消、各部会の横断的な情報共有と活動、運営委員会の就業適正化部会と女性活動推進部会を総務部会に一元化、理事会機能の活性化、各理事の職掌と執行責任の明確化。総務部会は組織運営に関する全般、地域組織・会員部会は15組の組長、会員数に応じた班長により構成、ボランティア活動の企画、推進もはかる。広報広聴部会は広報誌の作成、今後は会員の意見や提案にも対応していく。安全委員会は、会員の健康及び安全に就業できるようパトロール活動など実施。
3. シルバー人材センターの就業については、シルバー人材センターが提供する業務として臨時的、短期的業務：おおむね月10日程度以内、簡易な業務：おおむね週20時間を超えないことを目安に。就業時間を拡大する特例措置としてシルバー人材センターが派遣、職業紹介に限り会員に週40時間を上限として業務を提供することが出来るようになった。会員の就業マナーとして、仕事を誠実に履行する事と、発注者・就業仲間との間の信頼関係の構築。
4. ボランティア活動については、センター全体として取り組んでいるボランティア活動と組単位の地域組織のボランティア活動があり、東京マラソンのボランティア活動等を例に話されました。
5. 組織運営については、シニアの就業機会の創出、生きがい・社会貢献の為、シルバー人材センター運営に関する課題・問題、会員に関係する事案は、班長会・組長で共有し、事案を関係部会で検討し理事会への報告、関係部会・関係事務局員との共有を図る。意思決定は会長が事務局長との協議の上判断する。会員における課題・問題（就業先における課題・問題等）は、組長で対応できる事案の支援理事への報告、支援理事は理事会への報告、関係部会との共有を図り、関係部会で検討が必要な事案は理事会へ報告する意思決定フローとした。

最後に、令和5年度の総会は、会員全員参加できる状態にしたいので、是非ご参加くださいとの話がありました。



さらに、小湊事務局長による、事業実施状況報告として会員登録状況と事業実施の説明の後、続いて中浜部会長より、センター・会員・本年度センターが目指すべきものの説明があり、これからは、違う視点で生活の為だけではなく、一生働くこと、ボランティア活動に参加して生活満足度を上げる活力のある地域社会作りを目指して、社会貢献してくださいとの話がありました。

## 総務部会からのお知らせ（「みのり通信」）

みなさんこんにちは！

総務部会では、11月10日に「用賀あったかサロン」を用賀ワークプラザで3年ぶりに再開しました。コロナ禍での再開ですので3年前と同じとはいかず、週1回木曜日午後0時30分から2時30分までとし、コーヒー等の茶菓の提供は無しで各自飲み物を持参していただいています。囲碁、将棋は出来ませんが今までのようにコミュニティの場として集う場所を提供するものです。皆さんの参加をお待ちしています。コロナの終息の経過を見ながら、来年度春には以前と同様に開けたら良いと考えています。また「あったかサロン」ではお手伝いのボランティアを募集しています。



今回は用賀での再開ですが 今後は烏山や下北沢等の他の地区での開催で、世田谷区民の皆様が集える場所の提供を考えています。

なおシルバー人材センターでは、8月には既報の通り若林公園での「せたがやふるさと区民まつり」、9月には成城ホールでの「いきいきせたがや文化祭」に参加し、当センターのPRに努めました。

さらに当センターが就業の紹介としてだけでなく生きがいの提供の場であると良いと思います。

【（なお、「シルバーせたがや」における「みのり通信」の体裁についての検討は、今後も継続してまいります。）】



【いきいきせたがや文化祭 会場】

## 地域組織・会員部会からのお知らせ

### 「シルバーせたがや」の郵送化、3年次研修会、地域活動懇談会について

○ センターの情報誌「シルバーせたがや」は、地域班の組長・班長が、会員各戸に配布してまいりましたが、時代の変化や個人情報保護の観点から、この度郵送へ切り替える事となりました。ここに至る迄には、地域組織の要であります組長・班長へのアンケート実施や、組長連絡会議を経ての結論であります。

しかしながら、今までの会員の皆様とセンターを結ぶ会報誌を手渡すことで、得られていたコミュニケーションや情報のやり取りを、今後、何に求めるかは極めて重要な問題です。世田谷区シルバー人材センターが、地域を活性化する働きとなる為には、組長や班長さんの働き抜きには考えられません。

現在、この課題に取り組んで居りますが、良き案があればお知らせください。

○ コロナ禍で3年間実施出来なかった3年次研修会は、3日間で約200余名の会員の参加で実施しました。

内容は、これからのセンターで100歳まで担う人材となって頂く為のものでした。

○ 今年度の地域活動懇談会は、各組に応じた実施を依頼しております。コロナ禍の心配は残っては居りますが、安全に配慮し、お元気にご参集ください。

# 安全委員会からのお知らせ



## 「自転車シミュレーター講習会」開く

自転車シミュレーター講習会が、11月15日(火)に、安全委員会主催によりシルバー人材センター大会議室で開催されました。

あいにくの雨模様にもかかわらず、27名の応募のうち25名が参加し、大盛況でほぼ定刻の午前10時に始まりました。

講習は、北沢警察署の警察官2名と自転車シミュレーター業者2名によって行われ、先ず、北沢警察署交通課の方から自転車安全運転の必要性をお話しいただいたあと、応募された方々が一人ずつ順番に実体験しました。

自転車シミュレーターは、自転車の上半分(タイヤが取り除かれたもの)のハンドル・ペダルを操作し、それが前方の画面に映るもので、停車のたびに右方向・左方向、もう一度右方向・後ろを確認し、走行中も車や歩いている人その他障害物に、いつも気を配らなければならないということを、気付かせてくれるものでした。

自転車運転中だけでなく、車を運転している時や歩いている時にも、常に注意が必要であることを再確認できる、貴重な講習でした。

## 「安全パトロール」の実施

安全委員会では6～9月にかけて、安全パトロールを実施しました。

安全委員2名が一組になり12か所の就業先を訪問して、会員の皆様のご意見を伺いました。

リーダーの方には、突然の電話対応や日程調整に協力していただき、ありがとうございました。各就業先では、皆様の創意工夫で出来るかぎりのことを、熱心に行っておられることがよく伝わりました。

特に、屋外作業の方は暑さ寒さの対策、害虫対策、危険箇所への対応、交通事故への注意、近隣住民や通行人とのコミュニケーションなどを、工夫して作業をしておられます。

皆様、やりがいを感じながらも次のような要望を出しておられます。

- \*安全のための(引継ぎ)マニュアルを作成して欲しい。
- \*ハードな屋外作業の場合は時間をシェアするなどの配慮をお願いしたい。
- \*一人作業の場合、土日の相談窓口がないと不安だ。

就業先によって、いろいろバラツキはあるようですが、均等により良い就業環境を提供していくことが安全のためにも大切かと思えます。

最後になりましたが、安全パトロールでの会員証の携帯率は87.5%、緊急時連絡カードの携帯率は62.5%、自転車保険への加入率は半分程度でした。万が一のために携帯率、加入率が上がるように呼び掛けていきたいと思えます。

安全と健康の両輪で、シルバー世代の就業を考えていきたいと思えます。

# 令和4年分の確定申告について

確定申告に必要な令和4年分（令和4年1月～令和4年12月）の「配分金支払証明書」は年末に郵送しております。下記を参考の上、申告をしてください。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、自宅からe-Tax（電子申告）のご利用もご検討ください。

## 配分金等に対する所得税の取扱い

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取扱いは以下のとおりです。

詳しくは、国税庁のホームページをご確認ください。

- 1 配分金収入は、所得税法上「雑所得」に区分されます。雑所得の金額は、原則として雑所得の総収入金額から実際にかかった必要経費を控除した金額です。
- 2 必要経費の額が55万円未満の場合には、租税特別措置法27条「家内労働者の特例」の適用により、必要経費の額を55万円（収入金額が限度）とすることができます。
- 3 配分金収入以外に55万円未満の給与収入がある方は、①55万円から給与所得控除の金額（給与収入と同額）を差し引いた残額と②実際にかかった必要経費の額のいずれか大きい金額が、配分金収入から控除できる必要経費の額となります。なお、給与収入が55万円以上あるときは、この特例は受けられません。
- 4 公的年金を受給している会員は、「家内労働者の特例」とは別に公的年金等控除が受けられます。また、個人年金等その他の雑所得がある方は、計算が異なりますのでご注意ください。

▼配分金にかかる所得税は、概ね次のように算出されます。

[（配分金収入－必要経費）＋（公的年金等の収入金額の合計額－公的年金等控除額）＋（給与収入－給与所得控除－所得金額調整控除）－基礎控除（48万円※1）等の所得控除]×適用税率＝所得税額※2

※1 合計所得金額が2,400万円以下の場合。

※2 平成25年分以降は、所得税額に2.1%を乗じた復興特別所得税の計算が必要となります。

●その他詳細につきましては所管の税務署にお問合せの上、正しく申告してください。

※配分金支払証明書の再発行依頼が多いため、紛失しないよう保管には注意してください。



## スマートフォン活用講習会が開催されました



令和4年11月17日（木）に宮坂区民センター2階大会議室にて、東京しごと財団が主催した、スマートフォンの講習会が行われました。東京都内のシルバーとしては初となり、総勢25名の方にご参加いただきました。内容は、スマートフォンの基本的な操作やカメラ・地図・アプリ等の使い方についての講習が行われ、講習中参加の皆様は大変盛り上がりました。参加者の方には、スマホの活用について理解が深まるとともに、当センターの活動にも興味を持たれ、当センターへご入会いただいた方もいらっしゃいました。

## 事故一覧 最近の事故報告【賠償事故】(令和4年10月28日現在)

件数	発生日時	就業内容	発生区分	事故発生状況	財物名称	損害程度
1	5月20日 15:10 曇り	自転車等の整理案内	就業中	自転車を整理しようとした際に、サドルやフレームがブロック塀に接触し傷がついてしまった。	フレーム・サドル部分の傷	破損
2	5月21日 9:00 曇り	植木の剪定	就業中	置いたままにしていた梯子に体が触れてしまい、家屋側に倒れ、廊下の窓を割ってしまった。	家屋の廊下の窓ガラス	破損
3	6月2日 7:13 晴れ	駐輪場管理	就業中	ゲートの柵に自転車のスタンドが挟まってしまい、工具を持ち出してスタンドを叩いたところ、ゲートから外れはしたがスタンドが傷ついてしまった。	自転車のスタンド	破損
4	6月3日 10:30 晴れ	家事援助サービス	就業中	納戸の片づけをしていたところ、誤って贈呈品用のお酒の包装・のしを破いて捨ててしまった。また、賞味期限が書かれたのりの袋も破いて捨ててしまった。更に、お茶も捨ててしまった。	包装・のし、のり、お茶	破棄
5	6月9日 14:00 晴れ	駐輪場管理	就業中	原動機付自転車を誤って撤去依頼をし、撤去業者が撤去を行う際に、チェーンロックを切断した。	チェーンロック	切断
6	6月28日 9:15 晴れ	駐輪場管理	就業中	お客様の電動アシスト自転車をラックに入れるのを手伝った際に、前輪部分の電気コードのカバーがラックに接触し破損してしまった。また、その際にコードも破損した。	電気コードカバー及びコード	破損及び切断
7	8月22日 9:15 晴れ	植木の剪定	就業中	植木剪定後の枝の後片付けの際中に、気づかずに地面に置いてあったリスのガーデンオーナメント（ウェルカムボード）に靴が当たってしまい一部が壊れてしまった。	ガーデンオーナメント	破損

## 事務局だより

## 事業報告 令和4年度(4月～10月)事業報告

		(対前年度比)
・会員数	2,865名	(105名減)
・受注件数	12,108件	(68件減)
・契約金額	7億7,176万円	(約4,715万円増)
・配分金額	6億496万円	(約3,430万円増)
・就業率	75.5%	(9.4%増)

会員数については、昨年同月と比較すると105名の減、入会者数の減少と退会者数が昨年同時期より上回っており減少傾向が進んでおります。事業実績については、受注件数は微減でありながら契約金額は昨年同時期と比較すると約4,715万円増、約6.5%増となっており、就業会員の皆様にお支払いする配分金では、3,430万円増と令和元年度のコロナ前の状況には及びませんが、上昇傾向にあります。センターでは基本的な感染対策を継続しながら、今後とも安全就業を最優先に事業活動を行い、新入会会員確保と就業拡大を検討してまいります。

■会費納入のお願い■ 会費（年1,000円）が未納の方は、宮坂本部または烏山支部へ早急にお納めください。

編集後記：新年号を編纂するにあたり、表紙から最後の事務局便りまで、今後のコロナ過の展開を踏まえての令和5年最初の号との認識で取材、記事編集をしてまいりました。

今年度の広報・広聴部会の在り方を模索しながら部会員一同努力してまいります。

今年もよろしくお祈りします。 部会長

### 表紙の写真

四季折々の変化を楽しみ、程よい運動をする希望丘公園に、新年早々に数年ぶりの真っ白な初雪が積もりました。子供のように感動して足跡を残してみました。



北村ふ志江さん



令和5年1月1日発行 通算第172号 編集発行：公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

本部：〒156-0051 世田谷区宮坂1丁目24番6号 ☎03-3426-9211(代)

烏山支部：〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号 ☎03-5316-1371

▼ホームページ

検索 → 「世田谷区シルバー」

<https://webc.sjc.ne.jp/setagaya/>